

7 さいたま輝き荻野吟子賞



埼玉県では、本県出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子（おぎのぎんこ）」にちなみ、その不屈の精神を今に伝える先駆的な活動をしているなど、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所の方々に「さいたま輝き荻野吟子賞」を贈っています。

この表彰制度は、女性と男性が個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画することができる男女共同参画社会づくりを推進するとともに、埼玉の偉人である荻野吟子を顕彰するため、平成17年度から実施しています。

■対象者

きらきら輝き部門	県内に在住（勤）若しくは県出身又は県内に所在し、先駆的な取組などにより各分野で特に功績が著しく今後の活躍が期待できる個人又は団体
さわやかチャレンジ部門	県内に在住（勤）又は県出身で、各分野にチャレンジし、今後さらなる活躍が期待できる年齢40歳未満の個人
いきいき職場部門	県内に所在し、男女が共同して参画することができる職場づくりに積極的に取り組んでいる事業所

○●○○●○○●○ 第13回（平成29年度）受賞者 ○●○○●○○●○

きらきら輝き部門

※敬称略

えびはら ゆみ
海老原 夕美（弁護士）

埼玉弁護士会初の女性会長、日本弁護士連合会副会長、両性の平等に関する委員会委員長を歴任。弁護士登録以来、女性も男性もともに生き活きと暮らしていける社会をめざして活動してきた。DV被害者の支援に積極的に取り組み、DV防止法の制定を強く訴えた。その後も、代理人としてDV被害者の立場に寄り添った活動をしている。また、早くから子どもの権利の問題にも力を注ぎ、NPO法人「埼玉子どもを虐待から守る会」の会長として活動するほか、「子どもシェルター」の開設にも尽力した。（さいたま市在住）

さわやかチャレンジ部門

※敬称略・五十音順

いはら あいこ
井原 愛子（起業家）

「TAP&SAP（タップアンドサップ）」代表。大学卒業後、一度は秩父を離れて生活をしたが、秩父の木と人に魅了されUターン。国内初のシュガーハウス「MAPLE・BASE（メープルベース）」をオープン。メープル事業のほか、「第3のみつ」といった地域資源を活かす商品開発や販売を行う。秩父の森のエコツアーも手掛け、秩父の魅力発信や情報発信に努めている。

（秩父市在住）

さとう まや
佐藤 摩弥（オートレーサー）

オートレーサー界では44年ぶりの女性レーサー。女性初のグレードレース制覇を含む3回の優勝など、男性レーサーに劣らない優秀な成績を残し、トップレーサーとして活躍している。また、オートレースの広報大使として活躍するとともに、被災者支援や交通事故防止などの社会貢献活動にも積極的に協力している。

（川口市在住）

いきいき職場部門

※五十音順

あいわ
愛和グループ（川越市）

周産期をコアとした、愛和病院を中核とするグループ。資格取得支援や女性管理職登用を進めている他、企業内保育所を設置するなど多くの両立支援策が取られている。また、全国初となる「パパの育児参加を後押しする宿泊施設 - パタニティ・マタニティハウス-」を展開するなど、地域のために新たな取組も進めている。

株式会社システムインテグレータ（さいたま市）

オリジナルのパッケージソフトとクラウドサービスを武器に成長を続けるIT企業。平成26年には東証一部に上場。働きやすい企業としても高く評価されている。ライフステージに合わせて選べる多様な育児制度は在宅勤務、週休3日勤務、時短勤務などバリエーションも豊富である。

